

からは「合併して何も良いことはない」という声が多く聞かれます。久田前田中線など、急がなくてもよい道路建設を見直すなどし、原油高騰による物価高や不況、米価下落などに苦しむ市民のくらしを応援する施策を講ずるべきではないか伺います。

市長 久田前田中線の建設は、合併時の約束事なので、計画どおり進めます。

質問 中曽根元首相などと与党内部からも、「至急元に戻して新しく考え直すべき」などという声が出されている後期高齢者医療制度は、一部の手直しでは「平成の姥捨て山」という矛盾は解決しません。この制度は「廃止」以外にないのではないかと伺います。

市長 今後、高齢者医療制度を持続可能とすることは必要であると考えています。

質問 少人数学級の優位性は、先駆的に実施している山形県などで実証済みです。県がやらないときは、市独自でも実施すべきではありませんか伺います。

教育委員長 県の動向を注意深く見守るとともに、少人数教育のあり方を検討して参ります。

「子どもの権利条例」の策定を



あべ こうじろう
安部 皓三
議員

質問 この度自治基本条例(素案)に「子どもの権利」が明記され、今までは「保護の客体」とされて来た子どもの立場を「権利の主体」とされました。そのための進め方、条例づくりについて伺います。

市長 「子どもの権利を守る」事は大切なことであると考え、「子育て環境ナンバーワンプラン」にその策定を予定しています。また現在策定作業中である、自治基本条例の中にも「適切な指導及び教育を受ける権利」「健全に成長できる権利」等4つの権利など盛り込んでおり、市としても自治基本条例等の拘わりを考慮しながら、どのような過程で作成されるのがよいか、市民の意見を聞いたり、先進事例等を参考にしながら、進めて行きます。

質問 平泉世界遺産登録の「記載延期」の大きな要因とこれからも市民が取り組むべき地域づくりとしての伝統文化産業、観光産業等

の視点について伺います。

市長 「平泉の世界遺産登録」において顕著な価値の証明が不十分とされましたのは、平泉が持つ本来の価値が不十分であるということではなく、関連の価値の説明の部分が不十分であったことです。この事について原点にかえり、理解して頂く努力をしています。

また、伝統文化産業・観光産業については秀衡塗等の漆文化・東街道を踏まえた馬文化等を根底しながら改めてこの機会に地域づくりの一つの視点として動きをして行きたいと思っています。



子育てを応援するために作成された「子育てガイド」

「地域防災」・「学校給食センター」・「学校図書費」について



ちば ごろう
千葉 悟郎
議員

質問 「宮城県沖地震」が発生して、「30年」になります。この地震発生後「30年」以内に地震が起こる確率が99%であると専門家等から言われております。奥州市は、公共施設や小中学校の耐震化が進められています。が、「地域の防災活動」がどのようになっているか伺います。

市長 各地で発生した地震等での災害で、初期の救出活動の70%以上は近隣の住民の手助けによるとアンケートで示されております。市内において「地域の防災組織・活動」に格差がありますので、今後その手立てを進めてまいります。

質問 「学校給食センター」が、建設されて久しいものがありますが、統合する計画はありますか。また、各区の学校給食センターの「事務担当者の配置」に違いがあるのなぜかと伺います。

教育委員長 築30年近い学校給食センターもあり、統合も含めてさまざまな面から検討しなければな